

# 朝日Nvest グローバル ボンドオープン 愛称〔Avest-B〕

追加型投信／海外／債券

## 交付運用報告書

第47期(決算日2023年8月24日)

作成対象期間(2023年2月25日～2023年8月24日)

第47期末(2023年8月24日)	
基準価額	7,813円
純資産総額	2,167百万円
第47期	
騰落率	△ 2.9%
分配金(税込み)合計	10円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しています。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。運用報告書(全体版)は、朝日ライフ アセットマネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
右記ホームページの「ファンド情報」等から当ファンドのファンド名称を選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧・ダウンロードすることができます。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「朝日Nvest グローバル ボンドオープン」は、このたび、第47期の決算を行いました。

当ファンドは、日本を除く世界各国の公社債に、グローバルな視点から、幅広く投資機会を追求し、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行いました。債券のアクティブ運用で実績のあるルーミス・セイレス社に運用を委託しています。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも、一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

## 朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

東京都杉並区和泉一丁目22番19号

<お問い合わせ先>

ホームページ：<https://www.alamco.co.jp/>

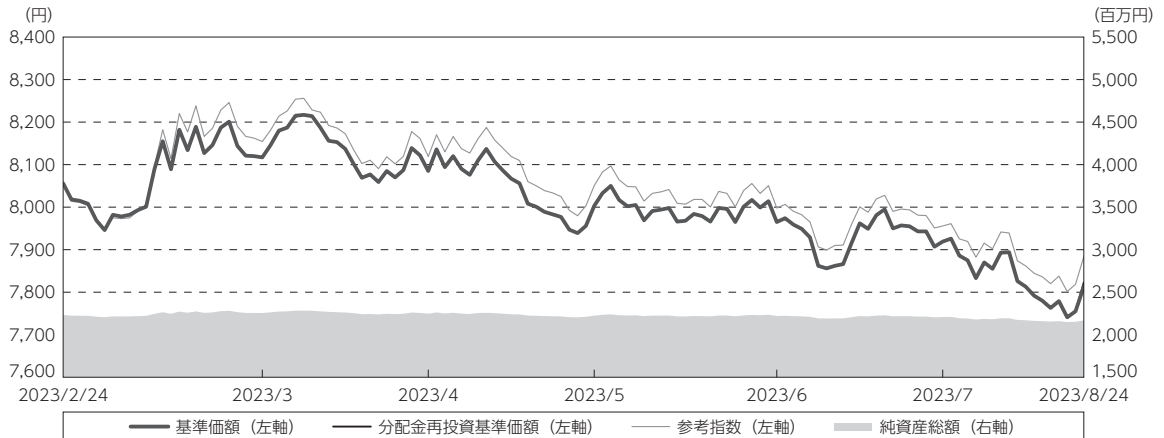
フリーダイヤル：0120-283-104

〔受付時間〕 営業日の午前9時～午後5時

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2023年2月25日～2023年8月24日)



期 首：8,056円

期 末：7,813円 (既払分配金(税込み):10円)

騰落率：△ 2.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 参考指数は、FTSE世界国債インデックス(除く日本)をファンドの計理基準に適合するように調整した数値を表示しています。この数値はインデックス構成国の現地通貨ベースのリターン(前営業日)から対顧客電信売買相場の仲値の1ヵ月フォワードレート(当日)に基づくヘッジコストを控除した構成各国の円ヘッジベースのリターンを国別構成比で加重して算出しており、当ファンド設定日の前日を10,000として指数化しています。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

## ○基準価額の主な変動要因

主な上昇要因としては、期中において投資適格社債を含む保有債券の利息収入を安定的に確保したこと、および期の前半において銀行セクターに関する不安や景気後退観測を受けて主要国の国債利回りが全般的に低下したことなどが挙げられます。

主な下落要因としては、期の後半において根強いインフレ圧力への対応として各国の中央銀行による金融引き締め強化が市場で再び意識されたことから主要国の国債利回りが上昇基調へ転じたこと、および期中を通じて為替ヘッジコストがかかったことなどが挙げられます。

## 1万口当たりの費用明細

(2023年2月25日～2023年8月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	57 円	0.709 %	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(31)	(0.382)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(24)	(0.300)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.010	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および 資金の送金・資産の移転等に要する費用です。
( 監 査 費 用 )	( 0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用です。
( そ の 他 )	( 0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	58	0.719	
期中の平均基準価額は、8,017円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます。)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

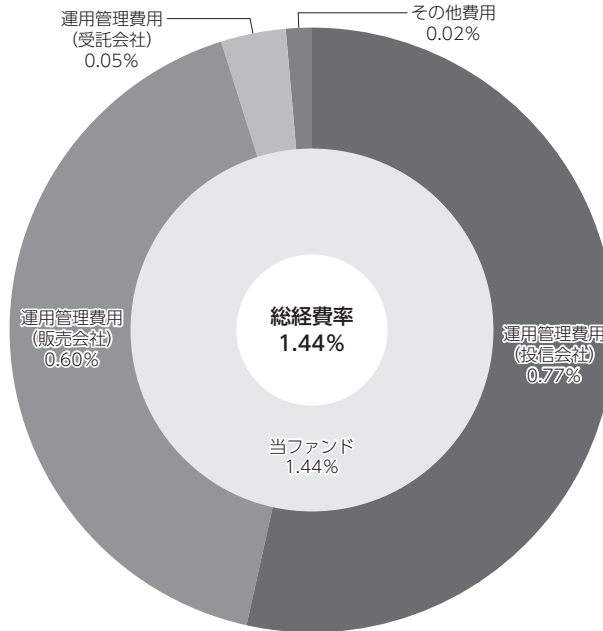
(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含みます。)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.44%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

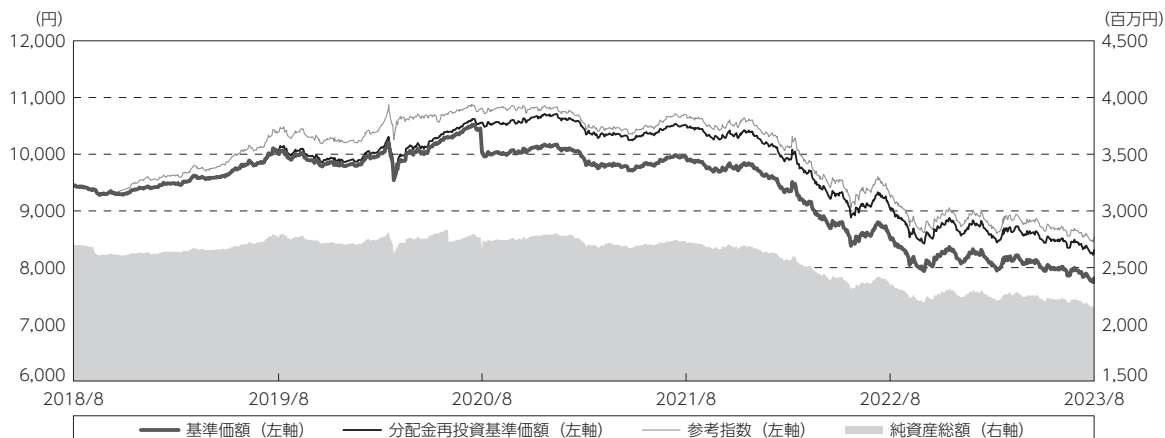
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2018年8月24日～2023年8月24日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2018年8月24日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2018年8月24日 決算日	2019年8月26日 決算日	2020年8月24日 決算日	2021年8月24日 決算日	2022年8月24日 決算日	2023年8月24日 決算日
基準価額 (円)	9,454	10,004	10,025	9,927	8,521	7,813
期間分配金合計(税込み) (円)	—	75	450	55	20	20
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	6.6	4.7	△ 0.4	△ 14.0	△ 8.1
参考指数騰落率 (%)	—	10.0	3.9	△ 1.0	△ 13.3	△ 7.9
純資産総額 (百万円)	2,702	2,765	2,657	2,723	2,348	2,167

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 (注) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

参考指数は、FTSE世界国債インデックス(除く日本)をファンドの計理基準に適合するように調整した数値を表示しています。この数値はインデックス構成国の現地通貨ベースのリターン(前営業日)から対顧客電信売相場の仲値の1ヵ月フォワードレート(当日)に基づくヘッジコストを控除した構成各国の円ヘッジベースのリターンを国別構成比で加重して算出しており、当ファンド設定日の前日を10,000として指数化しています。

**投資環境**

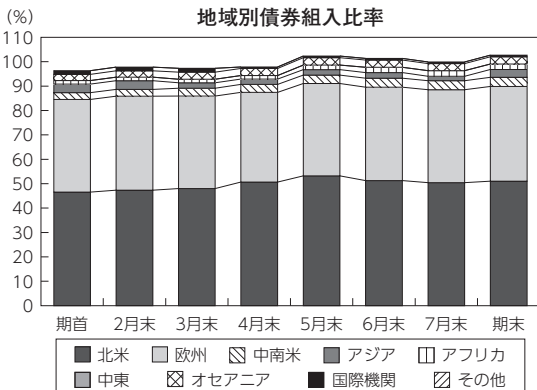
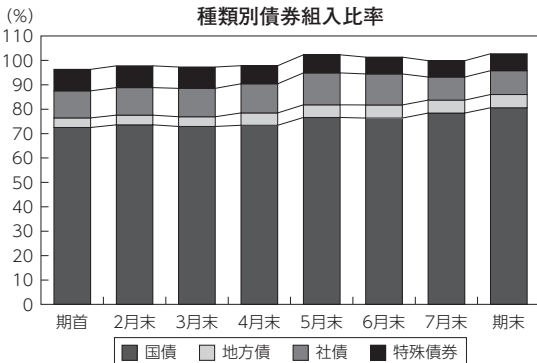
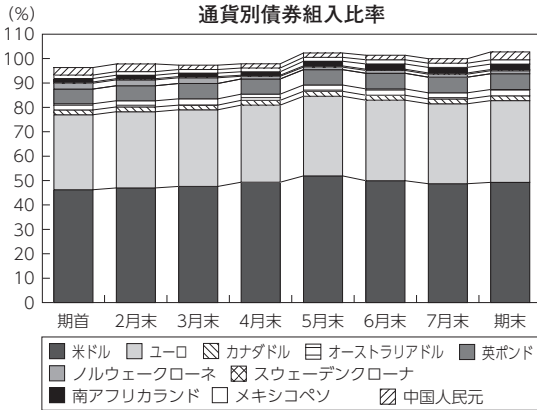
(2023年2月25日～2023年8月24日)

当期の前半については、米銀の経営破綻や欧州銀行の流動性危機に端を発した信用不安の高まりを受け、米国債利回りは低下基調で推移しました。雇用統計など好調な経済指標を受け国債利回りは一時上昇する局面があったものの、米国地銀の経営状況や景気後退リスクの高まりから同利回りは低下傾向を辿りました。ユーロ圏債券市場についても、米銀の経営破綻以降、欧州銀行セクターの健全性を巡る懸念が強まったことなどを背景に国債市場への資金流入が加速し、国債利回りは概ね低下傾向となりました。

当期の後半については、米国において全般的に経済指標が良好であったことや株式市場が堅調に推移したことから、米国経済は景気後退入りを回避できるとの観測が強まりました。これを受けて、FRB(米連邦準備理事会)は金融引き締めスタンスを維持するとの見方が有力となり国債利回りは上昇傾向が強まりました。さらに2023年8月に入り、米財務省が利払い費の負担増などに対応するため国債を増発すると公表したことにより、今後の需給悪化が金利上昇圧力になるとの見方を背景に国債利回りはその水準を一段と切り上げました。ユーロ圏債券市場においては、ユーロ圏経済の成長鈍化が懸念される一方、高い伸びが続くインフレ状況などからECB(欧州中央銀行)による金融引き締めが再び意識され、徐々に国債利回りは上昇する展開となりました。なお、当期の社債市場については、期の前半に金融セクター中心に社債のスプレッド(国債との利回り較差)が一時的に拡大した後、景気楽観的な見方が優勢となったことを受けてスプレッドは縮小傾向となり、期末は期初とほぼ同水準のスプレッドで終えました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2023年2月25日～2023年8月24日)



主要投資対象である朝日Nvest グローバル ボンドマザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券に投資することにより、実質的な運用をマザーファンドで行っています。マザーファンドは主として日本を除く世界各国の公社債に投資するとともに、外貨建資産の為替リスクを原則フルヘッジすることにより、信託財産の長期的成長を図ることを目的としています。

運用にあたっては、ルーミス・セイレス・アンド・カンパニー・エル・ピー(以下「ルーミス・セイレス社」といいます。)に外貨建資産の運用指図(為替ヘッジ取引の指図を含みます。)に関する権限を委託しています。

ポートフォリオ全体のデュレーション(金利変動に対する債券価格の変動率)は期首とほぼ同程度の水準を維持しました。

ポートフォリオの平均格付けは期首と同じAAを維持しました。また組入銘柄数は期首の103銘柄から期末は98銘柄となりました。

投資国(地域、国際機関を含みます。)数は、アラブ首長国連邦、香港の銘柄を売却する一方、コロンビア、デンマークの銘柄を組入れ、期末は期首と同じ23か国となりました。通貨別の組入比率については、主にノルウェークローネの組入比率をやや引き下げ一方、米ドル、ユーロの組入比率をやや引き上げました。

当期の売買につきましては、主に社債等の比率を引き下げ一方、国債の比率を引き上げました。個別銘柄では、BOEING(アメリカ、航空機製造)、EQT(アメリカ、エネルギー)、CK HUTCHISON(香港、多国籍コングロマリット)などの銘柄を全売却する一方、OVINTIV(アメリカ、エネルギー)、BROADCOM(アメリカ、半導体・ソフト)、DANSKE BANK(デンマーク、銀行)などの銘柄を新規に組み入れました。

エマージング諸国の債券につきましては、主にアラブ首長国連邦、香港の銘柄を売却する一方、コロンビアの銘柄を組入れました。また南アフリカの組入比率を引き上げたことなどから組入比率は前期末からやや上昇しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

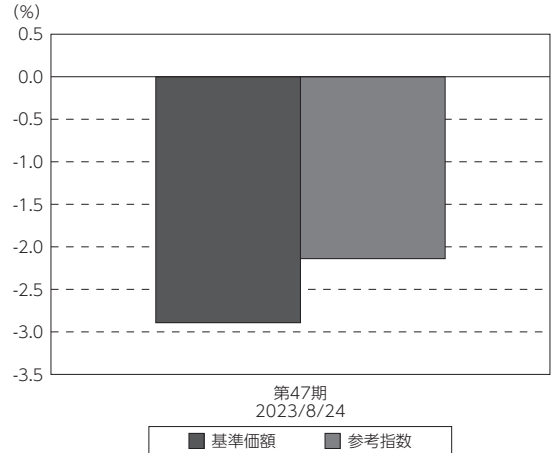
(2023年2月25日～2023年8月24日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークはありません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数が2.1%下落したのに対し、基準価額は2.9%下落となり、参考指数を0.8%下回る結果となりました。ファンドから控除される信託報酬等のコストが主なマイナスの乖離要因となりました。

### 基準価額と参考指数の対比(期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金込み(税込み)です。

(注) 参考指数は、FTSE世界国債インデックス(除く日本)をファンドの計理基準に適合するように調整した数値を表示しています。この数値はインデックス構成国の現地通貨ベースのリターン(前営業日)から対顧客電信売買相場の仲値の1ヵ月フォワードレート(当日)に基づくヘッジコストを控除した構成各国の円ヘッジベースのリターンを国別構成比で加重して算出しており、当ファンド設定日の前日を10,000として指数化しています。

## 分配金

(2023年2月25日～2023年8月24日)

当期の分配金につきましては、収益分配方針に基づき、基準価額水準などを勘案して、1万口当たり10円とさせていただきます。

なお、収益分配にあてず信託財産内に留保した利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第47期
	2023年2月25日～ 2023年8月24日
当期分配金	10
(対基準価額比率)	0.128%
当期の収益	10
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	1,316

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益および当期の収益以外は、小数点以下を切捨てて表示しているため、合計した額が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針

マザーファンドへの投資により、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。マザーファンドは、引き続き、日本を除く世界各国の国債、地方債および社債等にグローバルな視点から幅広く投資機会を追求し、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行ってまいります。また、為替変動リスクの低減を図るため、為替は原則としてフルヘッジとします。

## お知らせ

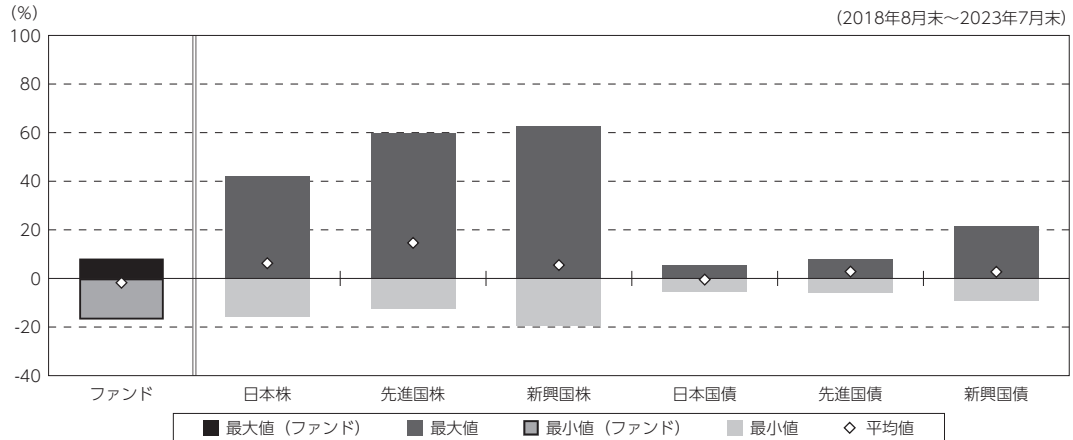
該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	主として日本を除く世界各国の公社債に投資し、信託財産の長期的な成長を目指して、運用を行います。	
主要投資対象	朝日Nvest グローバル ボンドオープン	朝日Nvest グローバル ボンドマザーファンド受益証券
	朝日Nvest グローバル ボンドマザーファンド	日本を除く世界各国の公社債
運用方法	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として、日本を除く世界各国の公社債に、グローバルな視点から、幅広く投資機会を追求し、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。債券のアクティブ運用で実績のあるルーミス・セイレス社に運用を委託しています。為替は原則としてフルヘッジとします。	
分配方針	毎決算時(2月24日、8月24日。休業日の場合は翌営業日)に、配当等収益および売買益などのうちから、基準価額水準等を勘案して、分配を行う方針です。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないこともあります。	

## (参考情報)

## ○ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	8.2	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 16.9	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4
平均値	△ 1.8	6.3	14.6	5.5	△ 0.5	2.8	2.7

グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注) 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年8月から2023年7月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2023年8月24日現在)

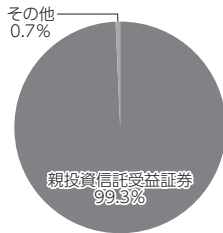
## ○組入上位ファンド

銘 柄 名	第47期末
朝日Nvest グローバル ボンドマザーファンド	99.3%
組入銘柄数	1銘柄

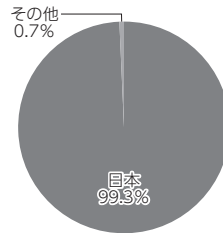
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

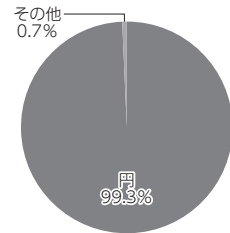
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

## 純資産等

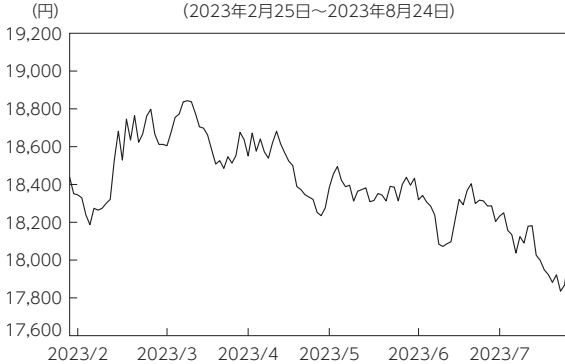
項 目	第47期末
	2023年8月24日
純 資 産 総 額	2,167,991,406円
受 益 権 総 口 数	2,774,674,699口
1万口当たり基準価額	7,813円

(注) 期中における追加設定元本額は57,371,225円、同解約元本額は53,497,769円です。

## 組入上位ファンドの概要

### 朝日 Nvest グローバル ボンドマザーファンド

#### 【基準価額の推移】



#### 【1万口当たりの費用明細】

(2023年2月25日～2023年8月24日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用	1	0.008
( 保 管 費 用 )	(1)	(0.007)
( そ の 他 )	(0)	(0.000)
合 計	1	0.008

期中の平均基準価額は、18,406円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます。)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含みます。)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

#### 【組入上位10銘柄】

(2023年8月24日現在)

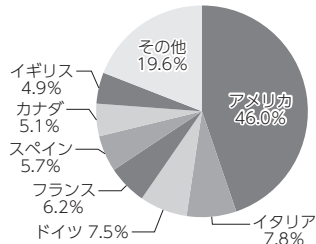
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 ( 地 域 )	比 率
					%
1	US TREASURY NOTE 2.75% 2027/4/30	国債証券	米ドル	アメリカ	8.5
2	US TREASURY NOTE 2.75% 2032/8/15	国債証券	米ドル	アメリカ	7.9
3	BTPS 5.25% 2029/11/1	国債証券	ユーロ	イタリア	4.9
4	US TREASURY NOTE 0.75% 2028/1/31	国債証券	米ドル	アメリカ	4.2
5	US TREASURY NOTE 0.375% 2026/1/31	国債証券	米ドル	アメリカ	4.1
6	US TREASURY BOND 1.25% 2050/5/15	国債証券	米ドル	アメリカ	3.0
7	US TREASURY NOTE 3.375% 2033/5/15	国債証券	米ドル	アメリカ	2.9
8	US TREASURY NOTE 0.25% 2025/6/30	国債証券	米ドル	アメリカ	2.6
9	FRANCE O.A.T. 4.5% 2041/4/25	国債証券	ユーロ	フランス	2.3
10	SOUTH AFRICA GOVT 7% 2031/2/28	国債証券	南アフリカランド	南アフリカ	2.2
	組入銘柄数		98銘柄		

- (注) 比率は、純資産総額に対する割合です。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

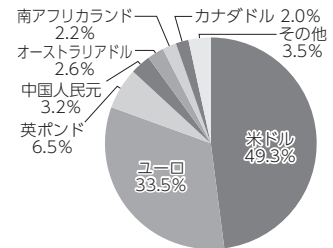
#### 【資産別配分】



#### 【国別配分】



#### 【通貨別配分】



- (注) 比率は純資産総額に対する割合です。

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

#### ○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

#### ○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

#### ○NOMURA – BPI 国債

NOMURA – BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

#### ○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。